

## 1 クロスローラシステムの特徴

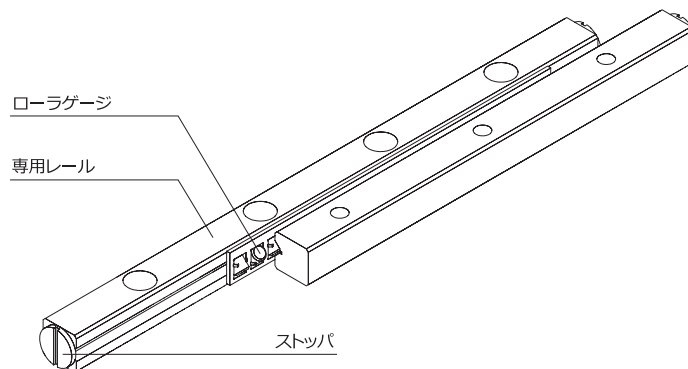
SBC クロスローラシステムは、精密研削加工されたV溝転動面に精密ローラを交互に直交させたローラケージを組み合わせて設けた直動案内システムです。光学装置、各種測定器、OA 機器及び周辺機器など幅広く使われています。

### ● 高剛性

超精密ローラを交互に直交させたローラケージ 2 本と精密研削加工された専用のV溝レール 4 本を組み合わせた構造です。2 列平行に取付けますので、あらゆる方向の荷重、モーメントに強くなっています。かつ予圧を与えられるので隙間なく、またボールに比べて転動体の接触面積が大きくなるため高剛性が得られます。

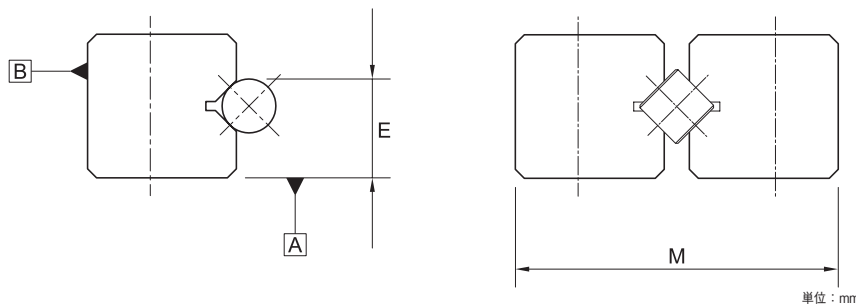
### ● 滑らかな運動

各ローラがケージで分離保持され、かつケージに成形されたローラポケットとローラが面接触しており潤滑油の保持にも優れていますので、摩耗の少ない滑らかな直線運動が得られます。



## 2 精度規格

SBCクロスローラシステムの精度は下記表のように上級（H）と精密級（P）に分類されます。



単位：mm

| 項目              | H（上級）    | P（精密級）   |
|-----------------|----------|----------|
| A,B面に対する転動面の平行度 | グラフ参照    |          |
| 高さEの寸法許容差       | ±0.02    | ±0.01    |
| 高さEのペア相互差       | 0.01     | 0.005    |
| 幅Mの寸法許容差        | 0 ~ -0.2 | 0 ~ -0.1 |

高さEのペア相互差は、同一平面に使用されるレール4本に対して適用されます。

